



男女共同参画ってなあに？ Part 85

「利根町男女共同参画推進条例」を制定しました！！その2

条例を制定した背景

町では、男女共同参画社会の実現を図るため、「利根町男女共同参画推進条例」を制定し、令和3年4月1日から施行しました。今回は、条例に記載されているそれぞれの役割についてお伝えします。

町民のみなさんは

- 家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野で、男女共同参画の推進に努めましょう。
- 町が実施する男女共同参画の推進に関する施策への協力に努めましょう。



事業者のみなさんは

- 事業活動で、男女共同参画の推進に努めましょう。
- 男女が共に職業生活における活動や家庭生活、地域生活等における活動を両立できるよう就労環境の整備に努めましょう。
- 町が実施する男女共同参画の推進に関する施策への協力に努めましょう。



町は

- 男女共同参画の推進に関する施策を総合的に策定し、実施します。
- 男女共同参画の推進に関する施策について、町民のみなさんや事業者の理解が深まるよう必要な啓発活動を行います。



※「利根町男女共同参画推進条例第4条―第6条」より

問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線337)

SDGs とは？



目標2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

世界を生徒40人の教室と考えると、その日食べるものがない、明日以降も食べ物をえられるか分からない状態の人が4人もいます。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつづき 33

認知症の人の作り話に思えることも、本人にとっての事実

認知症の方が、さっき、○さんが来てお茶を飲んだとか、デパートに行っていたはずなのに、○さんと買い物に出かけてきたとか、先日旅行に行ってきたとか、先だけ○○ちゃんは小さくて大変だった(○○ちゃんは、今は大人なのに)と言うように、周りの人はいつのことなのか、事実なのかがわからなく思える事があります。事実と違うからと、訂正をしたり、話を否定したり、強制的に指導したりすると、本人はムキになって怒り出し、周囲は対応に戸惑うことがあります。認知症になると過去と現実の区別がつかなくなる状態が見られます。何十年前の話や今の話のように話すことがあります。本人の意識の中ではいつも本音の話で、居心地のよい思い出や楽しかった頃に帰っているのかもしれない。認知症の人は作り話をしているのではなくて、その世界に本音で入っているのです。記憶の回路が壊れてしまっても、心は保たれているから、拒否された、叱られた屈辱感が残ります。度重なるとうつ症状に繋がることもあります。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎68-8941
- 複合施設 響 ☎68-8500
- 居宅介護支援事業所 介護老人保健施設もえぎ野 ☎68-6081



ります。認知症に関わらず、高齢になると間違えることも増えますが、自尊心を傷つけないように接したいものですね。



福祉コラム 知って欲しいなマークの意味 Vol. 4

障害者に関するマークについて【このマークを知っていますか？】

障害者に配慮した施設であることや、それぞれの障害について分かりやすく表示するため、いろいろなマークや表示があります。

右記のマークをご存知でしょうか？

ほじょ犬マークは身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。「身体障害者補助犬法」において、公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設は、身体障害者補助犬を同伴するのを受け入れる義務があります。補助犬を同伴することのみをもってサービスの提供を拒むことは障害者差別にあたります。

一人一人がマナーと思いやりを持って暮らしやすい社会にするために、これらのマークの意味を知ってご理解とご協力をお願いいたします。



ほじょ犬マーク

問い合わせ先 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部企画課自立支援振興室
☎03-5253-1111 (代)
FAX 03-3503-1237